

山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会
令和3年度実施事業 評価及び効果検証結果

施策分野		重要業績評価指数 (KPI)					所管課の評価及び効果検証			来年度以降の方向性 (修正・改善など)	委員会の評価・意見等			
		項目	単位	上段:変更 下段:当初			指標向上に向けて 実施した取り組み	評価	評価の理由		評価	意見等		
基本目標	基本的方向			現状値 (R01)	基準値 (R02)	実績値 (R03)				参考:見込値 (R04)			目標値 (R07)	
【しごと】 資源を活かした魅力ある地域産業を創出する	地域資源を活かした産業の振興	正組合員一人当たり年間漁業生産額	千円	2,430	2,127	1,988	2,000	3,000	アワビ等の種苗放流経費や衛生機器等整備費に対する補助事業を実施した。	C	アワビ資源が減少している中、放流員が漁獲されており漁獲の下支えをしている。	【水産商工課】 算出方法の基礎となっている年間総生産額の精度が下がっているため根拠として利用することが適正か検討する必要がある。	C	一定の効果があった 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい (より効果を図ることができる参考指標が別にあるとよい)
		新規出店店舗数(累計数)	件	0	3	2	3	21	未利用店舗等活用支援事業による補助金の交付を実施した。	C	事業開始時の費用負担の軽減が図られ、経営の安定化につながっている。	【水産商工課】 未利用店舗解消後の新たな支援策の検討が必要である。	C	一定の効果があった 引き続き取り組みを推進するとともに、より効果を上げるための新たな施策の研究に努めて頂きたい
	創業支援体制の構築	新規創業件数(累計数)	件	2	6	1	2	25	やまだ創業サポート事業による補助金の交付を実施した。	C	事業開始時の費用軽減が図られ、新規創業を検討する事業者を後押ししている。	【水産商工課】 制度の内容や、実際に起業した事業者の実績などのPRを通じ、制度の活用を図る。	C	一定の効果があった 引き続き取り組みを推進するとともに、より効果を上げるための新たな施策の研究に努めて頂きたい

山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会
令和3年度実施事業 評価及び効果検証結果

施策分野		重要業績評価指数 (KPI)							所管課の評価及び効果検証			来年度以降の方向性 (修正・改善など)	委員会の評価・意見等	
		項目	単位	上段:変更 下段:当初									指標向上に向けて 実施した取り組み	評価
基本目標	基本的方向			現状値 (R01)	基準値 (R02)	実績値 (R03)	参考見込値 (R04)	目標値 (R07)						
【しごと】 資源を活かした魅力ある地域産業を創出する	地域産業を担う人材の確保・育成	新規漁業就業者数 (累計数)	人	7	7	2	4	20	豊かな浜の担い手育成支援事業による支援金交付や山田町漁業就業者育成協議会に補助金を交付するなどの事業を実施した。	B	支援により就業の後押しになっていると考えられる。漁家後継者の就業確保に寄与している。	【水産商工課】 漁業経営を開始、継続できる制度、施策の立案が必要である。	B	相当程度効果があった 引き続き新規就業者の確保・育成に努めて頂きたい
		新規農業就業者数 (累計数)	人	0	0	1	3	2	新規就農者研修受入支援事業を新たに開始し、農業を始めやすい環境を整備した。	A	取組の成果が出ており、目標達成に向けて順調に推移している。	【農林課】 現在の取組を継続する。	A	非常に効果があった 引き続き新規就業者の確保・育成に努めて頂きたい
		インターンシップ新規実施企業数	社	19	19	19	19	20	新卒者ふるさと就職促進事業を実施し、町内新卒者を雇用した企業に補助金を交付した。	C	補助金を交付することにより、新卒者の雇用を企業が積極的に行うことを後押ししている。	【水産商工課】 新卒者を含め若者が就職しやすい環境づくりについて、ハローワークや関係団体と連携し推進する。	C	一定の効果があった 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい

山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会
令和3年度実施事業 評価及び効果検証結果

施策分野		重要業績評価指数 (KPI)							所管課の評価及び効果検証			来年度以降の方向性 (修正・改善など)	委員会の評価・意見等	
		項目	単位	上段:変更 下段:当初									指標向上に向けて 実施した取り組み	評価
基本目標	基本的方向			現状値 (R01)	基準値 (R02)	実績値 (R03)	参考:見込値 (R04)	目標値 (R07)	評価	意見等				
【ひと】 新しいひ との流れ を創造す る	関係人口・交 流人口の創 出・拡大	SNSフォロワー件数	件	1,700	-	3,480	4,413	3,000	メルカリShops にて町の不用と なった物品を販 売しており、そ の情報もtwitter で発信してい る。また、移住 ガイドブックに SNS情報を掲載 し、更新回数を 増やした。	A	着実にフォロ ワー件数が増え ている。	【総務課】 【農林課】 【政策企画課】 更新回数を増や し、フォロワー の獲得に努める。	A	非常に効果があった 今後も積極的な情報発信 に努めて頂きたい
		ふるさと納税件数	件	2,770	10,768	16,611	16,287	15,000	本町の特産品の 洗い出しを実施 し、返礼品数を 増やし、ふるさ と納税のポータ ルサイトも増設 した。	A	目標値を達成 し、ふるさと納 税を通じて本町 の認知度が上 がっていると考 える。	【水産商工課】 ふるさと納税は他 市町村も増えてお り、今後は本町独 自の返礼品開発や PRが必要になっ てくる。	A	非常に効果があった 引き続き取り組みを推進 するとともに、新たな返 礼品の開発に努めて頂き たい
		体験型観光体験者数	人	2,700	1,875	2,312	3,469	3,400	北東北での観光 キャンペーン に、体験観光事 業を登録し、周 知及び誘客に努 めた。	C	新型コロナウイ ルス感染症の拡 大により、問い 合わせはあった ものの、観光に 訪れた方は少な かった。体験観 光事業は実施し た。	【水産商工課】 新型コロナウイル ス感染対策を講じ た観光事業の実施 に努め、観光誘客 を図る。	C	一定の効果があった 引き続き取り組みを推進 するとともに、新たな施 策の研究に努めて頂き たい

山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会
令和3年度実施事業 評価及び効果検証結果

施策分野		重要業績評価指数 (KPI)					所管課の評価及び効果検証			来年度以降の方向性 (修正・改善など)	委員会の評価・意見等			
		項目	単位	上段：変更 下段：当初							指標向上に向けて 実施した取り組み	評価	評価の理由	評価
基本目標	基本的方向			現状値 (R01)	基準値 (R02)	実績値 (R03)	参考見込値 (R04)	目標値 (R07)						
【ひと】 新しいひとの 流れを創造する	移住定住の促進	町事業による移住者数 (累計数)	人						オンラインを使った移住PRを行った。	B	移住者や相談件数が増えている。	【政策企画課】 様々な移住イベントに参加し、PRを行う。	B	相当程度効果があった 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい
				0	8	15	24	38						
		移住お試し住宅利用件数 (累計数)	件						移住イベント等PR時には、必ず紹介するようにした。	D	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用中止期間があった。	【政策企画課】 新型コロナウイルス感染症の流行状況を見ながら、移住イベントでPRを行う。	D	効果が少ないので改善が必要 新型コロナウイルス感染症の影響により効果が少なかったと考える 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい
				-	1	2	3	25						

山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会
令和3年度実施事業 評価及び効果検証結果

施策分野		重要業績評価指数 (KPI)							所管課の評価及び効果検証			来年度以降の方向性 (修正・改善など)	委員会の評価・意見等	
		項目	単位	上段:変更 下段:当初									指標向上に向けて 実施した取り組み	評価
基本目標	基本的方向			現状値 (R01)	基準値 (R02)	実績値 (R03)	参考:見込値 (R04)	目標値 (R07)						
【ひと】 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援	助産師なんでも相談件数	件						窓口やガイドブック、ホームページ等での周知を図り、気軽に誰もが相談できる環境づくりを行った。	A	助産師2名により、より専門的な相談支援を実施することができた。	【健康子ども課】 継続して周知を図る。(令和3年度より産後ケアに係る相談については、相談件数より除外)	A	非常に効果があった 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい
				425	374	268	270	500						
		産後ケア利用率	%						出生届時や新生児訪問等で周知し、利用率の向上に努めた。また、特に支援が必要な産婦には、次回の予約を取りながら継続的に支援を実施した。	A	産後の母子の身体的な支援だけでなく、精神的面でも支援をすることができた。	【健康子ども課】 継続して周知を図る。	A	非常に効果があった 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい
				48.6	61.0	68.5	75.0	80.0						
		子育てサロン平均利用者数	人						広報やブログ、乳児健診等で周知を図り、特に支援が必要な母子にも利用を促した。	A	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は減少したが、新規利用者数は増加した。	【健康子ども課】 継続して周知を図る。	A	非常に効果があった 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい
				15	16	11	11	20						

山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会
令和3年度実施事業 評価及び効果検証結果

施策分野		重要業績評価指数 (KPI)							所管課の評価及び効果検証			来年度以降の方向性 (修正・改善など)	委員会の評価・意見等	
		項目	単位	上段:変更 下段:当初									指標向上に向けて 実施した取り組み	評価
基本目標	基本的方向			現状値 (R01)	基準値 (R02)	実績値 (R03)	参考:見込値 (R04)	目標値 (R07)						
【ひと】 結婚・出 産・子育 て・教育 の希望を かなえる	教育環境の整 備	学校生活満足度	%						やまだの学び事 業の推進により hy-QU活用研修 会、生徒指導主 事研修会の開催 により各校での 実践につなげ た。	D	子どもの居場所 づくり、絆づく りが各校で活性 化していたが検 証が必要であ る。	【学校教育課】 hy-QUの分析・活 用についてより実 践的な研修会の在 り方を模索する。	D	効果が少ないので改善が 必要 学校再編等が影響してい ると考えられる 結果を分析・検証し、今 後の取り組みに反映させ るよう努めて頂きたい
				90.0	89.8	83.7	85.7	92.0						
		英検3級取得率	%					23.7		前年度の取組か ら課題となっ ている項目を明確 にしてその分野 の向上に努め た。	C	英語の授業改善 方策シート等で 改善が必要な項 目が明確にな り、取組みやす くなった。	【学校教育課】 目標値を実現可 能な数値に修正す る。 取組を検証し常に 改善できる体制づ くりを努める。	C
17.0	22.0			17.2	11.5	40.0								
運動能力の向上	%							やまだの学び事 業の推進により 業間マラソンや 縦割り班遊びな ど各校特色ある 活動を展開し た。	D	コロナ禍におい て外出自粛など 活動が制限され る場面が多く、 運動の機会が少 なかったことが 要因として想定 される。	【学校教育課】 実情を踏まえなが ら学校外での取組 を視野に改善を 図る。	D	効果が少ないので改善が 必要 新型コロナウイルス感染 症の影響があると考えら れる 結果を分析・検証し、今 後の取り組みに反映させ るよう努めて頂きたい	
		49.0	-	38.2	33.2	55.0								

山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会
令和3年度実施事業 評価及び効果検証結果

施策分野		重要業績評価指数 (KPI)					所管課の評価及び効果検証			来年度以降の方向性 (修正・改善など)	委員会の評価・意見等			
		項目	単位	上段: 変更 下段: 当初							指標向上に向けて 実施した取り組み	評価	評価の理由	評価
基本目標	基本的方向			現状値 (R01)	基準値 (R02)	実績値 (R03)	参考:見込値 (R04)	目標値 (R07)						
【まち】 誰もが安心して暮らすこと ができる魅力的な 地域をつくる	安全・安心な 暮らしの確保	交通事故発生件数	件						町交通指導員に よる町内巡回啓 発の強化に努め た。	A	長崎交差点信号 設置の効果を含 め、令和4年1 0月27日時点 で1年間交通死 亡事故ゼロを達 成した。	【町民課】 強化した啓発活動 と交通指導、新設 の信号機との相乗 効果を高め、引き 続き交通事故件数 ゼロを継続する。	A	非常に効果があった 引き続き取り組みの推進 に努めて頂きたい
				7	10	8	6	0						
	公共交通の利 便性の確保	山田地区以外の交通 空白行政区の割合	%						総合計画に基づ く消防整備事業 により消火栓、 耐震性貯水槽を 計画的に設置し た。	A	有利な補助事業 等を活用し整備 を図った。	【消防防災課】 今後も補助事業等 を活用し継続的に 事業を推進する。	A	非常に効果があった 引き続き取り組みの推進 に努めて頂きたい
				84.0	85.1	86.4	87.9	90.0						
									交通空白地への コミュニティバ スの運行を開始 した。	A	患者輸送バスを 廃止し、利用目 的や利用者を問 わないバスとし たことで、交通 空白地を解消す ることができ た。	【政策企画課】 コミュニティバス 運行地域でも利用 実績がない地区が あるため、デマン ドタクシーを導入 して効率的な運行 を図る。	A	非常に効果があった 引き続き取り組みの推進 に努めて頂きたい
	17.6	17.6	0	0	0									

山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会
令和3年度実施事業 評価及び効果検証結果

施策分野		重要業績評価指数 (KPI)							所管課の評価及び効果検証			来年度以降の方向性 (修正・改善など)	委員会の評価・意見等	
		項目	単位	上段:変更 下段:当初									指標向上に向けて 実施した取り組み	評価
基本目標	基本的方向			現状値 (R01)	基準値 (R02)	実績値 (R03)	参考:見込値 (R04)	目標値 (R07)						
【まち】 誰もが安心して暮らすこと ができる魅力的な地域をつくる	健康・生きがいづくりの支援	生涯学習関連講座受講者数	人	585	540	488	642	600	各地区集会施設を会場とした生涯学習講座を企画した。	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした講座が多く、評価が難しい。	【生涯学習課】 新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、開催方法や内容を工夫した講座を企画実施する。	C	一定の効果があった 新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい
		社会体育施設使用団体数	団体	67	108	112	110	70	各種スポーツ教室や大会の開催を通じて、スポーツに取り組み楽しさを広く周知した。	A	スポーツに親しむ機会を提供したことで、体育施設の利用団体数が増加した。	【生涯学習課】 今後も各種スポーツ教室や大会を企画開催し、町民が気軽にスポーツ活動に参加する機会の提供に努める。	A	非常に効果があった 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい
		各種がん検診平均受診率	%	15.8	13.3	16.4	18.5	25.0	がん検診を過去3年間未受診であった方に対して、個別に受診勧奨を実施し、受診率の向上に努めた。	C	目標値には程遠いが、受診勧奨後に検診の申し込みが増加するなど、施策に見られ、各種がん検診平均受診率が向上した。	【健康子ども課】 継続して周知を図る。	C	一定の効果があった 引き続き取り組みの推進に努めるとともに、より効果を上げるための新たな施策の研究に努めて頂きたい